

令和3年度事業計画書

I 肢体不自由児の福祉の増進を図る事業を実施する。

1 肢体不自由児への理解と療育思想を広く県民に普及する事業

(1) 「友情の絵はがき」「愛の絵はがき」「トッキッキのクリアファイル」「レルヒさんメモ帳」等事業（継続）

予 算 758,000円（令和2年度予算 362,000円）

（福）日本肢体不自由児協会（以下「日肢協」と表記）及び各道府県肢体不自由児協会の主唱で、毎年11月中旬から1か月間全国一円に展開される「手足の不自由な子どもを育てる運動」の一環として、肢体不自由児・者に対する理解及び療育思想の一層の普及促進を目的に寄付を募る。

クリアファイルは、当協会独自のトッキッキ柄クリアファイル（A4サイズ）を作成し、肢体不自由児・者への理解及び療育思想の普及啓発を図るとともに、事業財源の確保に努める。

また、昨年度に引き続き、（公財）千葉県肢体不自由児協会及び、群馬県肢体不自由児協会が取り扱うご当地キャラクター（千葉県：チーバくん、群馬県：ぐんまちゃん）のA4クリアファイルをコラボセットとし、新潟県のクリアファイルも千葉・群馬で返礼品として扱ってもらうことで、寄付金の増加を目標とする。

令和3年度は新たな返礼品として、一昨年行ったアンケートで返礼品の要望が多かったメモ帳（レルヒさん柄）も作成する。（5,000個作成予定）

（タオルと一緒に送るため、送料や消耗品等は愛のタオルの方に計上している。）

返礼予定数

【友情・愛の絵はがき】（日肢協作成） 500組（2年度実績598組、元年度実績740組）

【トッキッキA4クリアファイル】

10,000枚作成予定。その内、群馬県での返礼4,000枚、千葉県での返礼500枚予定

トッキッキA4クリアファイルの『県内』での返礼実績

令和2年度：3,788枚

令和元年度：3,950枚

トッキッキクリアファイルの『千葉県』での返礼実績：1,806枚

トッキッキクリアファイルの『群馬県』での返礼実績：3,950枚

【コラボセット】

チーバくん、ぐんまちゃんA4クリアファイル、トッキッキクリアファイル、レルヒ

さんメモ帳を4つ1組にして500円で返礼

(令和2年度実績(単品で返礼):千葉県作成クリアファイル 900枚、群馬県作成クリアファイル 1,034枚)

【収入:令和3年度予算額 1,529,000円 令和2年度予算額 708,000円】

(2)「愛のタオル」事業(継続)

予算 10,849,000円 (令和2年度予算 11,076,000円)

肢体不自由児に対する理解及び愛護療育思想の一層の普及啓発を図ることを目的に寄付を募り、寄付協力者に対して「愛のタオル」を配布し、肢体不自由児への理解と療育思想の促進を図るとともに、事業財源の確保に努める。

令和2年度同様、ナセンタオルは1口250円で返礼することとする。フェイスタオルは1口500円で返礼する。

令和2年度同様、梱包作業を福祉作業所に委託することとする。併せて、タオルや絵はがきの寄付の依頼文書やクリアファイルの封入作業も委託する。

また、協会ホームページよりタオルやクリアファイル等寄付金の申し込みフォーマットを構築し、インターネットを使った申し込みに対応出来るよう、ホームページの改修を行い、寄付の申し込みがしやすい環境を整備する。(今まで通りFAXやメール、電話でのお申し込みも受け付ける)

返礼予定数 フェイスタオル 12,000本、ナセンタオル(2種)各21,000本

(令和2年度実績 フェイスタオル 12,240本、ナセンタオル(お弁当柄) 21,265本、(リンゴ柄) 20,977本、過去作成タオル3本セット 4,713組)

ホームページに寄付金申し込みフォーマットを作成:委託費 370,000円
年間保守管理費:80,000円

【令和3年度返礼品一覧(予定)】

- ①トッキッキフェイスタオル 1枚500円
- ②チューリップ柄ナセンタオル 1枚250円
- ③ひつじ柄ナセンタオル 1枚250円
- ④絵はがき 1組100円
- ⑤トッキッキA4クリアファイル 1枚150円
- ⑥レルヒさんメモ帳 1個150円
- ⑦コラボセット(トッキッキ・チーバくん・ぐんまちゃんクリアファイル各1枚、レルヒさんメモ帳1個) 1セット500円

※⑥⑦以外、返礼単価は昨年度と同じ

【 収入 : 令和3年度予算額 16,120,000円 令和2年度予算額 18,111,000円 】

(3) 肢体不自由児・者の書、絵画、写真などの作品展開催事業
（「ふれ愛作品展」の開催事業（継続））

予 算 738,000円（令和2年度予算 460,000円）

全国の「肢体不自由児・者の美術展」、「肢体不自由児のデジタル写真展」の入賞作品や県内の肢体不自由児を中心とした障害児・者の書、絵画、写真等の作品を展示し、応募対象者の生きがいの増進と一般の人々の肢体不自由児・者に対する理解と療育思想の促進を図る。

令和2年度と同様に、新潟市東区役所と新潟ふるさと村アピール館を会場とし、肢体不自由児者への理解の普及啓発を図る。

【新潟ふるさと村 アピール館会場（新潟市）】

期 日：8月中旬～8月下旬（予定）

展示場所：新潟ふるさと村 アピール館（1Fホール）（予定）

展示作品：第39回「肢体不自由児・者の美術展」入選作品及び県内在住の入賞者の作品

肢体不自由児・者のデジタル写真展入選作品

県内在住の肢体不自由児・者の作品

【新潟市東区役所（新潟市福祉課と共催予定）】

期 日：9月上旬～9月中旬（予定）

展示場所：新潟市東区役所（予定）

展示作品：第39回「肢体不自由児・者の美術展」入選作品及び県内在住の入賞者の作品

肢体不自由児・者のデジタル写真展入選作品

県内在住の肢体不自由児・者の作品

(4) 援護活動等が顕著な者を表彰する事業（肢体不自由児援護表彰事業（継続））

予 算 181,000円（令和2年度予算 193,000円）

肢体不自由児に対する援護、療育思想の普及啓発を図り、援護活動を推進するため、障害にもめげず勉学や療育に励み、他の児童、生徒の模範となる肢体不自由児、肢体不自由児の友を助け、励ましながら共に学んだ児童・生徒・学級、肢体不自由児の療育・指導に顕著な功績のあった者及び、肢体不自由児の保護者として他の模範となる努力や研鑽の著しい者を表彰する。

なお、新型コロナウイルス感染症の流行状況を考慮し、令和元年度と令和2年度

は表彰式は見送った。令和3年度においても流行状況を考慮しながら、開催を検討する。

被表彰者 各項目2～3名程度（合計10名程度）
表彰式 2～3月頃（予定）
場 所 県庁

2 肢体不自由児に対して奨学金を給付する事業（肢体不自由高等学校奨学生採用事業（継続））

予 算 745,000円（令和2年度予算 756,000円）

一般の高等学校に在学している肢体不自由児の就学活動を支援するため、奨学金を給付し（返済不要）、勉学の意欲を助長するとともに、肢体不自由児の健全な育成と家庭への援助を図る。

採用予定人員 12人（令和2年度実績 13人）
奨 学 金 1人60,000円（令和2年度と同額）
振込手数料等 25,000円

3 肢体不自由児の生活向上のための講習会等の開催事業

(1) 肢体不自由児夏期訓練事業（継続）

予 算 291,000円（令和2年度予算 351,000円）

夏期期間を利用して肢体不自由児及びその保護者に集団生活の機会を与え、子ども同士の心のふれあいや親同士の親睦と正しい療育知識の取得の指導訓練を行う。

新潟県肢体不自由児者父母の会連合会に事業を委託する。

なお、令和2年度は新型コロナウイルス感染症の影響により、8地区ある父母の会の内、事業を開催したのは4地区だった。

委託費 290,000円
通信運搬費等 1,000円
開 催 7地区で開催予定

(2) ボランティア講習会開催事業（休止）

予 算 0円（令和元年度予算 0円）

肢体不自由児等への理解の促進や、自立と社会参加の促進を進めるため、肢体不自由児を支援するボランティアの輪を広げることを目的として、大学短大及び高等学校の学生に周知しての講習会を実施していたが、参加人数の減少に伴い平成 29 年度から休止中。

(3) 「ふれあいの集い」開催事業（継続）

予 算 302,000円（令和 2 年度予算 374,000円）

肢体不自由児と地域の小・中学生の交流を通じて障害の有無にかかわらず、相互に人格と個性を尊重し、支え合う共生社会の理念の普及を図るとともに、肢体不自由児への理解と心のバリアフリーの育成を図ることを目的に、スポーツ教室やレクリエーション等を行う。

例年、夏に県外のチームを呼び、車椅子バスケットボールの大会を開催していたが、新型コロナウイルス感染症の流行のため、令和 2 年度は車椅子バスケットボールの大会は中止した。令和 3 年度も車椅子バスケットボール大会は新型コロナウイルス感染症流行のため休止とし、チェアスキーバイスキー教室を少人数で日程を 2 回に分けて開催する予定。

開 催	年 2 回（スキー教室 2 回）
参加予定者	各 15 人程度（ボランティア、介助者含む）
開催場所	上越地方を予定

(4) 肢体不自由児休日等支援事業（継続）

予 算 74,000円（令和 2 年度予算 147,000円）

肢体不自由児が休日や長期休暇期間において、自主性・社会性等を培う場を提供し、有意義な休日を送れるよう、新潟県立東新潟特別支援学校の生徒を対象に、大学生などのボランティアが企画・運営するレクリエーションを開催する事業を例年行っていたが、新型コロナウイルス感染症流行のため、令和 2 年 3 月から活動を休止中。今後は新型コロナウイルス感染症の流行状況を考慮し、活動再開時期を検討する。

開催回数	年 3 回（令和 2 年度 0 回）
会 場	県立東新潟特別支援学校、新潟市東区プラザ、新潟ふれ愛プラザ など

4 肢体不自由児に生活の意欲と活力を与える活動、団体への助成事業

(1) 肢体不自由児を激励するイベントに助成する事業（肢体不自由児激励事業（継続））

予 算 393,000円（令和 2 年度予算 473,000円）

肢体不自由児の生活に意欲と活力を与えることを目的に、保護者団体が行う各種イベント等の事業に対し助成を行い、その活性化を図る。

新型コロナウイルス感染症の流行のため、例年より活動を実施出来る団体が減少したため、昨年度予算と比べてより交付予定団体を減額した。

交付予定	10 団体	(令和 2 年度実績 7 団体)
1 団体当たり	37,000 円以内	(令和 2 年度と同額)
振込手数料等	23,000 円	

(2) 学生ボランティアサークルに助成する事業(学生ボランティアサークル助成事業(継続))

予 算 160,000円 (令和 2 年度予算 105,000円)

主に肢体不自由児を対象にボランティアで支援活動を行っている学生ボランティアサークルに対し活動費の助成を行い、肢体不自由児の援護の活性化を図るとともに、学生ボランティアサークルの強化を図る事業を行っているが、新型コロナウイルス感染症流行のため、ボランティアサークル活動を休止している学校が多い。

令和 2 年度に新規サークル立ち上げの連絡もあったため、新型コロナウイルス感染症流行状況を考慮し、活動出来るサークルに交付予定。

交付予定	3 サークル	(令和 2 年度実績 1 サークル)
1 サークル当たり	50,000 円以内	(令和 2 年度と同額)
振込手数料等	10,000 円	

(3) 障害者スポーツ参加促進事業

予算合計 1,046,000円 (令和 2 年度予算 1,056,000円)

ア スポーツ大会観戦等に助成する事業

予 算 10,000円 (令和 2 年度予算 30,000円)

障害のある方とその介助者等を対象に、アルビレックス新潟のサッカー観戦チケットを無償で配布し観戦していただくことで、スポーツへの関心を育み、スポーツに対する意欲の促進や障害者の積極的な社会参加を図る。

イ スポーツ用品等購入に助成する事業

予 算 1,036,000円 (令和 2 年度予算 1,026,000円)

障害者が利用可能なスポーツ施設(社会福祉施設を含む)や障害者の支援団体、NPO 法人などに対して、肢体不自由児・者が参加資格のあるスポーツに係る用具の購入

費用に助成を行い、障害者スポーツの啓発・普及を図るとともに、障害者スポーツへの参加を促進する。

なお、長期にわたり継続的に助成を受ける団体が出てきたため、過去5回以上助成を受けた団体は対象外とし、新規助成希望団体を優先する。

交付予定	10 団体	(令和2年度実績 9 団体)
1 団体当たり	100,000 円以内	(令和2年度と同額)
振込手数料等	36,000 円	

(4) 肢体不自由児関係団体支援事業 (継続)

予 算 487,000円 (令和2年度予算 471,000円)

心身障害者の福祉の増進のため活動を行っている、日本筋ジストロフィー協会新潟県支部に対して活動費等の助成を行い、団体の活動強化、育成強化を図ることにより、肢体不自由児への支援を促進する。

また、車椅子を必要とする施設や学校に希望を取り、1台5万円を上限として当協会より購入助成金を交付することとする。

助成額	(社)日本筋ジストロフィー協会新潟県支部	150,000 円
	車椅子寄贈希望先 (車椅子5万円×6施設)	300,000 円
振込手数料等		37,000 円

(5) 社会参加交流体験研修事業 (継続)

予 算 52,000円 (令和2年度予算 82,000円)

新潟県肢体不自由児者父母の会連合会が、肢体不自由児者の社会参加促進、社会交流の向上を目的に行う研修会に対して助成し、社会参加、社会交流の一層の向上を図る。

開催回数	年1回
会 場	選定中 (令和2年度「南区白根健康福祉センター」)
助成額	40,000 円 (令和2年度助成額 17,952 円)
振込手数料等	12,000 円

(6) 協会事業案内小冊子作成事業

(予算 210,000円 (令和2年度予算 0円))

新型コロナウイルス感染症流行のため各種事業が中止になり、対面での情報交換が出来ない状況を踏まえ、肢体不自由児者の保護者の方向けに小冊子を作成する。また、各障害福祉施設や関係団体等にも設置して頂き、当協会の事業の年間スケジュールや主な事業の周知を図る。

小冊子印刷及びデザイン代	180,000 円
小冊子発送代（通信運搬費）	30,000 円
印刷予定枚数	30,000 部（デザイン料は印刷代に含む）

II 役員会等

- 1 監事会 5月に開催し、決算の監査を行うほか、理事会に出席して頂き、評議員会に提出すべき議案及び書類について監査する。
- 2 理事会 5月に決算、3月に予算を審議する通常理事会のほか、必要に応じ随時開催する。
- 3 評議員会 5月に決算審議の定時評議員会、3月に予算審議の臨時評議員会を開催するほか、役員の選任など必要に応じ随時開催する。

※新型コロナウイルス感染症の流行状況を考慮して、書面開催とする場合もある。

III その他法人会計に関わる事業

(1) ホームページの管理（継続）

予 算 126,000円（令和2年度予算 394,000円）

当協会のホームページを随時更新し、事業内容の周知に努めるとともに各種事業の参加促進及び愛護療育思想の普及に努める。

URL: <https://www.shinshikyo.org/>

メールアドレス: sinsikyou@r3.dion.ne.jp

(2) 関東ブロック肢体不自由児協会連絡協議会

予 算 73,000円（令和2年度予算 76,000円）

令和2年度は千葉県で関東ブロック肢体不自由児協会連絡協議会（千葉県・群馬県・神奈川県・茨城県・新潟県）を開催する予定だったが、新型コロナウイルス感染症流行のため中止された。令和3年度は千葉県の開催を予定。各県の取り組みや財政状況等報告し、協会の安定的な運営等について協議する。

